

分別のポイント ~ここがわかれば、分別が楽しくなる~

ごみの分別、負担に感じていませんか？

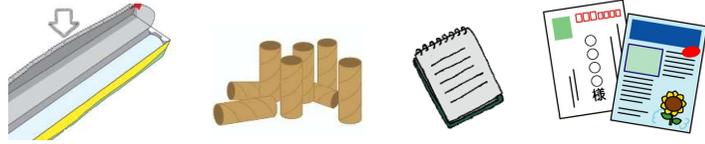
技術の進歩により、以前は再資源化できなかったけれども、今では再資源化できるものも多くあります。市民の皆さんが毎日のごみの分別でのお悩みが少しでも解決できればと思い、分別のポイントを紹介します。分別のポイントを押さえることで、毎日のごみの分別の負担が少しでも軽減されればと思います。今後も技術の進歩により再資源化できるものは増えていきますので、その都度お知らせしていく予定をしております。ご協力よろしく申し上げます。



その1 雑がみ

ほとんどの紙は「燃やすごみ」ではなく、雑がみとして資源として再利用できます。紙袋に入れて口をホチキスでとめたり、十字に縛ったりして、中身が出ないようにして出してください。



	ポイント 	理由	
○	<ul style="list-style-type: none"> 菓子箱・ティッシュの箱 封筒類 	ボックスティッシュの取出し口のフィルムや、窓空き封筒のフィルムははがさずそのままOK。	再資源化の工程で除去できるため。
	<ul style="list-style-type: none"> コピー用紙 	ホチキスの針は外さずそのままOK。ただし大きめの金具は外してください。外した金具は燃えないごみへ。	再資源化の工程で除去できるため。
	<ul style="list-style-type: none"> 紙製のカップ麺の容器 	サッと水洗いをするだけでOK。	大量の水やお湯、洗剤の使用は逆に環境に悪影響です。
	<ul style="list-style-type: none"> ラップの芯 	金属の刃は外して、金具は燃えないゴミへ。	
	<ul style="list-style-type: none"> トイレトペーパーの芯 付箋・メモ用紙・はがき 包装紙 	多少の汚れは問題なし。汚れのひどいものは「燃やすごみ」。	
△	<ul style="list-style-type: none"> シュレッダーくず  	幅3mm以上ものは「雑がみ」それより幅の狭いものは「燃やすごみ」。	3mmより短いものは、繊維が短くなりすぎているので再資源化には適しません。
×	<ul style="list-style-type: none"> ティッシュ 		汚れているため。
	<ul style="list-style-type: none"> レシートなどの感熱紙 カーボン紙 		特殊なコーティングがなされているため、再資源化できません。
	<ul style="list-style-type: none"> 写真 		
	<ul style="list-style-type: none"> 紙コップ・カップ麺のふた 		
	<ul style="list-style-type: none"> 内側が銀色の紙パック 		
	<ul style="list-style-type: none"> 和紙 		

その2 色トレー・その他プラスチック製容器包装

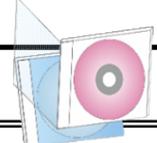
	ポイント 	理由
• 使用済みのラップ	ラベルがついたままでもOK。 汁やタレがついている場合は、サッと水洗いするだけでOK。	ラベルは作業の工程で除去できるため。 大量の水やお湯、洗剤の使用は逆に環境に悪影響です。
○ • マヨネーズなどの容器 • ワサビなどのチューブタイプの容器	中身をできるだけ出し切り、中をサッと水洗いするだけでOK。	
○ • レトルト食品の袋	中身をできるだけ出し切り、中をサッと水洗い（2、3回）するだけでOK。金属パネが使われている部分は「燃やすごみ」へ。	
• シャンプーなどの容器	中身をできるだけ出し切り、中をサッと水洗い（2、3回）するだけでOK。金属パネが使われている部分は「燃やすごみ」へ。	
• お菓子の袋	内側が銀色でもOK。多少の汚れはそのままでOK。	
• 納豆やカップ麺、カップ焼きそばなどの白い容器	「色トレー・その他プラスチック製容器包装」へ。	

その3 白トレー

	ポイント 	理由
○ • 肉や魚、惣菜などの白いトレー	サッと水洗いをするだけでOK。	大量の水やお湯、洗剤の使用は逆に環境に悪影響です。 
× • 納豆やカップ麺、カップ焼きそばなどの白い容器	「色トレー・その他プラスチック製容器包装」へ。	上記の白トレーとは成分が異なるため。 

その4 容器包装以外のプラスチック類

最近赤い文字で「**製品プラ**」と印字されたコンテナです。

	ポイント 	理由
○ CD、CDケース	ケースも中身こちらでOK。	反射している面も再資源化できます。 
○ プランター	土や汚れをとってから出してください。汚れがひどいものは、「燃やすごみ」へ。	汚れがひどいものは資源化できないため。 